

Nihon Molecular Devices, Co., Ltd.

Imaging Team

SalesNote-FY0912

掲載内容

1) 新製品情報

VTi レーザーモジュールがリリースされました。

磁気浮上除振台 MagFloat の新しいタイプがリリースされました。

AutoQuant-X バージョン 2.2 がリリースされました。

2) ジャーナル紹介

3色プラス重ね合わせ画像からモンタージュ画像を作成するジャーナル

3) MetaMorph 一口メモ

Overlay Tool を使用した面積の計測

1) 新製品情報

VTi レーザーモジュールがリリースされました。

VTi から新しいレーザーモジュールがリリースされました。

MetaMorph から ON/OFF、強度調整を行うことができます。

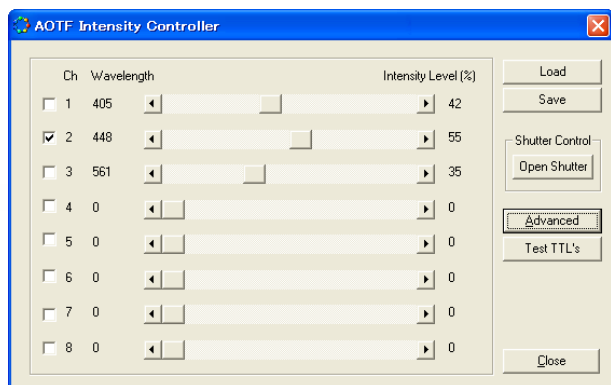
また、MetaMorph を使用しない場合でも付属のソフトウェアで ON/OFF、強度調整を行うことができます。高速切り替えも行えますのでデバイスストリーミングに対応しております。

3種類までのレーザーを搭載可能です。

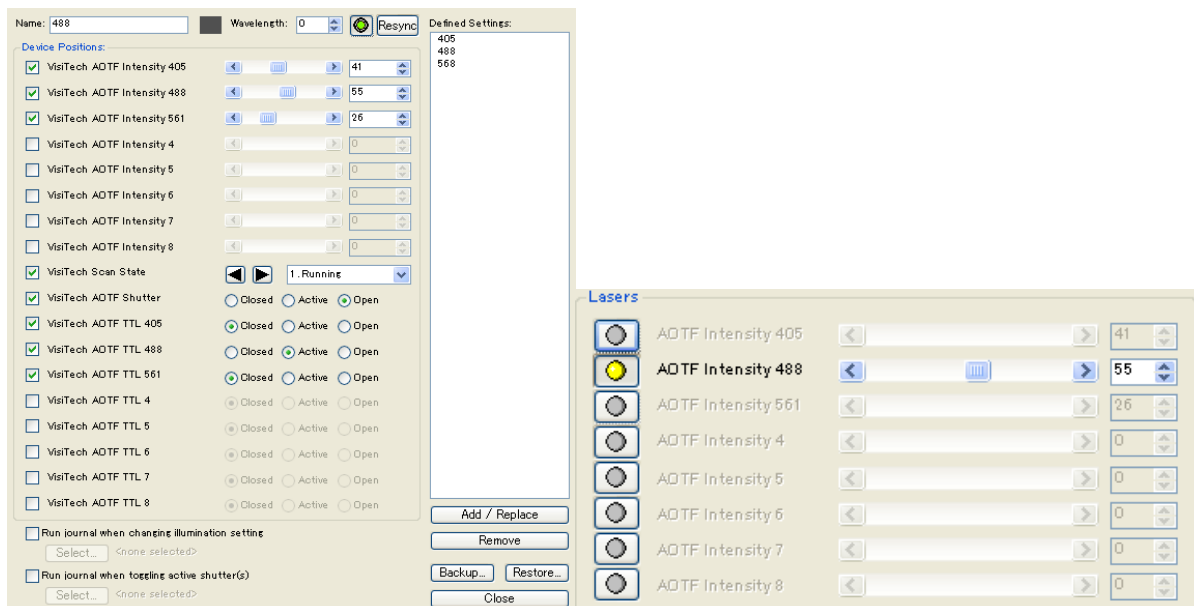
488nm(50mW), 561nm(50mW)レーザー搭載(光ファイバー込み)で¥6,500,000-(税別)になります。



レーザーモジュール



付属ソフトウェアでの制御

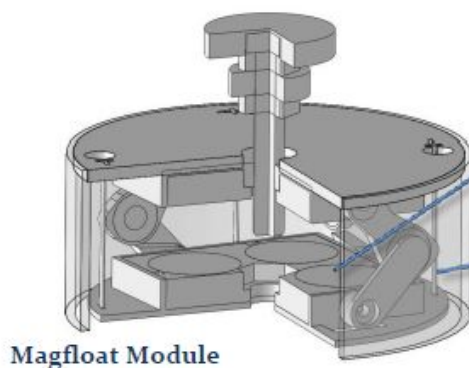


MetaMorph からの制御

磁気浮上除振台 MagFloat の新しいタイプがリリースされました。

SalesNote FY0910 で紹介いたしました磁気浮上除振台 MagFloat に新しいタイプがリリースされました。従来の長方形(正方形)のものに以外に、顕微鏡の形に応じた X 型、T 型もラインナップに加わりました。各社顕微鏡に合わせた形を作成することができますので、ご用命際にはご希望の大きさ等をご指定ください。

金額は ¥ 240,000-(税別)からになります。



Magfloat Module

MagFloat 台座部分詳細

Vertical vibration isolation

The repulsive force between magnets supports a loaded weight and cut off the transmission from the vertical vibration.

Horizontal vibration isolation

The suspension mechanism isolates the horizontal vibration not to transmit them to the inner magnet structure to be loaded the equipment on.

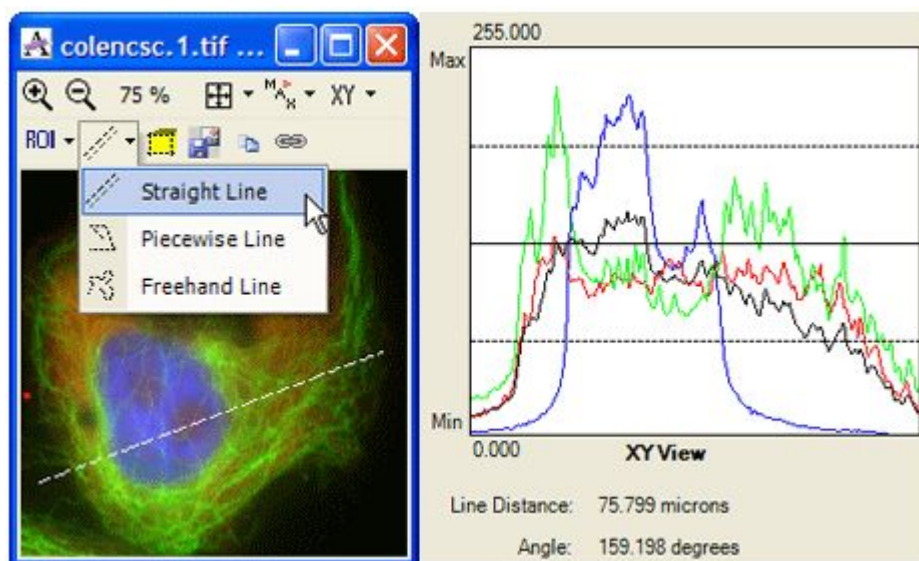
AutoQuant-X バージョン 2.2 がリリースされました。

3D デコンボリューション(AutoDeblur)、3D 画像表示(AutoVisualize)用ソフトウェア AutoQuant-X の最新バージョン 2.2 がリリースされました。



バージョン 2.2 の主な特長は下記になります。

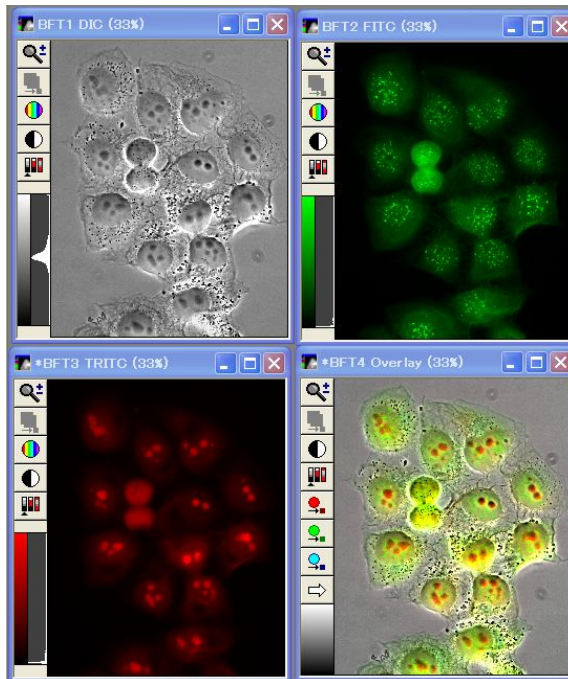
- ・ MetaMorph STK ファイル読み出しが改良されました。
- ・ 新しいライカ LIF ファイルに対応しました。
- ・ オリンパス OIF ファイルをサポートしました。
- ・ ニコン ND2 ファイル読み出しを改良しました。
- ・ デコンボリューション速度が向上しました。
- ・ ラインプロファイル、計測が可能になりました。
- ・ Batch 処理がより多くの画像を処理できるように改良されました。



2) ジャーナル紹介

3色プラス重ね合わせ画像からモンタージュ画像を作成するジャーナル

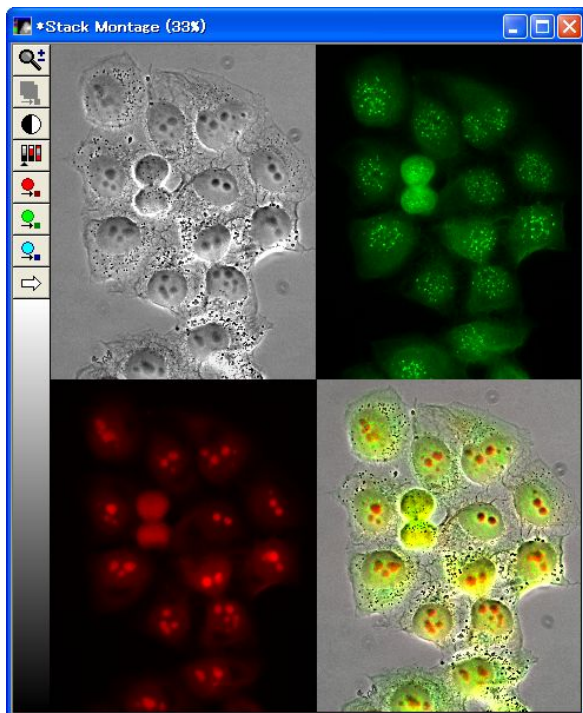
① 4コの画像を表示させます。



② ジャーナルを起動しますと、左上、右上、左下、右下の画像を指定するダイアログが表示されます。それぞれの画像を選択します。

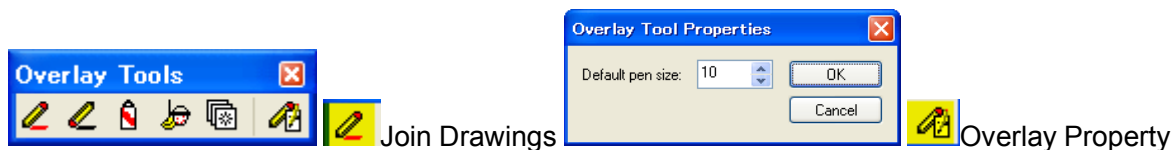


③ モンタージュ(Montage Stack)した画像が表示されます。



3) MetaMorph —口メモ

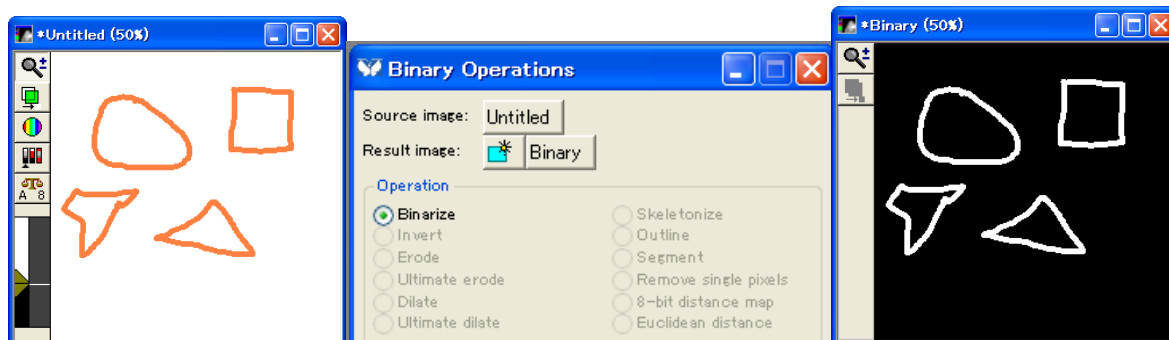
MetaMorph の **Overlay Tool** を使用した面積計測等への応用を紹介します。



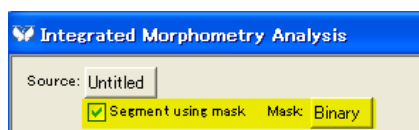
画像中に Join Drawings を用いて線を記載します。Overlay Property で線の幅を変更できます。

Process メニュー、Binary Operations で Binarize を選択して Apply をクリックします。

Binarize された画像が作成されますので、Integrated Morphometry Analysis(IMA)で面積を計測することができます。



Binarize された画像を IMA 中の **Segment using Mask** に設定して解析に使用することも可能になります。



以上